

AI に挑む!

9月27日、今回このずいひつを日記形式で書き記していく。

次の題材を考えたとき、イラスト自動生成AIが浮かんだ。11月には古い話題だろうか。それくらい連日 Midjourney、Stable Diffusion、mimic、イラストAIの話題を見かけている。これらのAI以外にも多くのイラストAIがあることを知り、いつの間にか時代が様変わりしていたことに驚いた。その使い方や著作権の考え方などをまとめたらひとつの読みものになるとまずは思ったのだ。けれどそれらは既にネットにたくさん紹介があるものだし、あえてその部分は省略することにした。なぜなら、その生成物が米国の美術品評会で優勝したことで物議を醸した Midjourney (以下 Mj) に実際に触れてみたとき感じたのは「すごいけどもどかしい」というのがゆさだったから。AIに人間として挑戦したいという感情が恐れ多くも芽生えてしまったのだ。この試みがまとめよりも面白くなることを祈る。

Mjに興味を持ったのはそのハッシュタグを付けられた壮大な絵の数々に素直に感嘆したからなのだが、自分で使ってみると思ったほど感動できなかった。Mjに重要なのは「呪文」である。単語や文章でもいいが、英語を使って伝える。その指示が出来栄えに影響するとあってなのか呪文と呼ばれている。頭にしっかり思い浮かぶ絵を描かせようとしてもそれとは別物になり、逆に思い浮かばないような未知のものを描いてもらおうとすると想像の範囲内…。魔法の杖を持って

いても呪文を言い間違えたら魔法は使えない。

リアルに“出来損ないの”魔法使いになった気分だった。

そこで作戦はこうである。関連のない単語を集め、呪文をつくる。そしてまず自分がそのイラスト表現に1か月かけて挑戦する。完成後Mjと同じ単語の羅列を唱えてみるのだ。Mjは悩まない、すぐさま描き出し1分で4枚もの絵を生成する。そこで出来上がったものに私はどんな思いを抱くのだろうか。

歓喜でも絶望でも、その瞬間を想像するとワクワクしている。



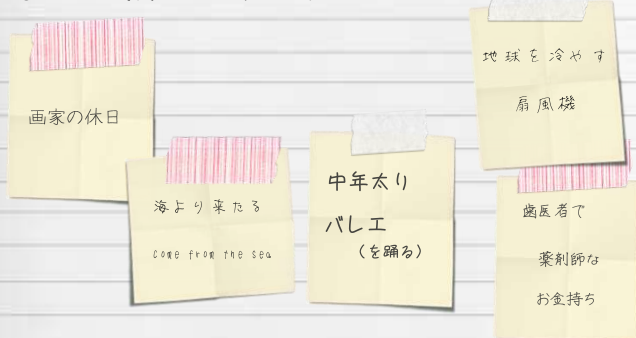
「見たことのない美しい花を
しあわせそうに嗅ぐくまを
エリックカール風に」と唱えたが
エリックカール(切り絵)らしさも
感じられなければ見たことない花かなあ...

「ある日、いつものように竹藪に入り込んで
見ますと、一本妙に光る竹の幹がありました。
不思議に思って近寄って、そっと切つて見る
と、その切った筒の中に高さ三寸ばかりの
美しい女の子が居ました。」...ただの竹藪だ!



(呪文は DeepL で翻訳した)

9月28日、前日「単語をください」と呪文箱を用意していた。早速協力してくれた様子にワクワクと開いたら、みんな単語じゃないぞと大混乱! もっと明確にお願いするべきだったと後悔し、やり直すべきか迷ったけれど、この無理難題でAIがどんな絵を描いてくるのか興味がある。それこそ想像もできないものが生まれるかもしれない。この時点で画力もない自分が挑む工程に意味があるのかは謎だけど、時間をかけて悩んで絵にしてみたい。



10月4日、呪文を得て1週間経っている。何も浮かんでない。画力のなさに凹む以前に、想像ができない。無念...

10月24日、予定では日々着々と絵を描いているはずだった。

そのために日記式で記録しようと思ったのに、試しばかりで下描きすらできていない現実だ。呪文からハッとするような1枚の絵の構図は思い浮かばなかった。どうしようもないので地道に細部を描き表すことだけを目指とする。期限は11月11日までとしよう。

メインは「海より来たる地球を冷やす扇風機」だ。「海より来たる中年太りのバレリーナ」も面白いけれどそうすると扇風機がさっぱり思い浮かばない。海から謎の巨大怪物(扇風機)が現れる海辺に中年太りのバレリーナとアイコン的な画家を描き込もう。いちばん悩む「歯医者で、薬剤師な、お金持ち」をそこに絡ませるアイデアも表現する術もないので、でんとくんとふあーまちゃんを描いてしまおう。密かなる歯学・薬学図書館情報センターのオリジナルキャラクターだ。以後お見知りおきを。



裏頁へ続く

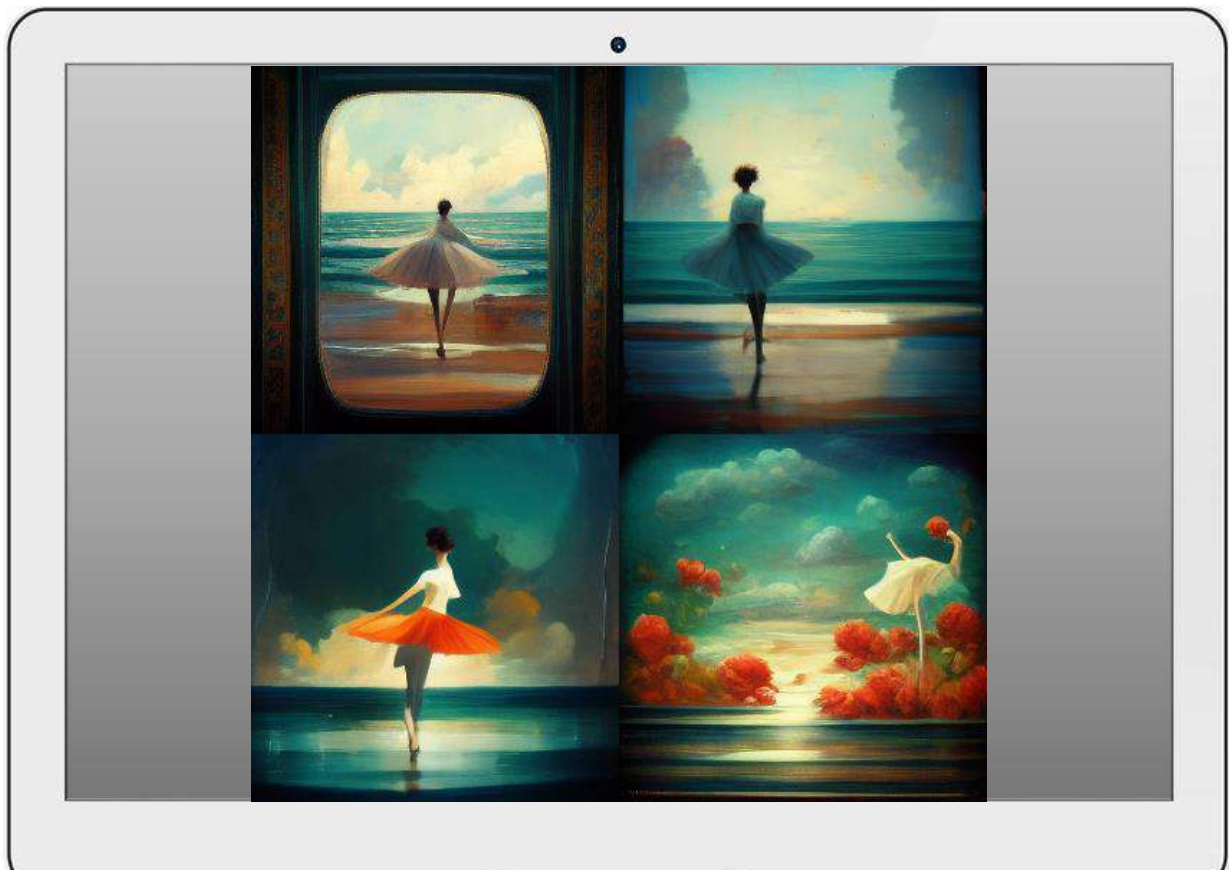


11月11日、ひとまず考えるよりもペンを動かすことだけ続けて、完成にはなんとかたどり着いた。Clip Studio(アプリ)を初めて使い約360分かけて描き上げた。ご覧のとおり、謎の絵である。海と風が難しく描けなかった。けれど楽しんだ。ピカソ(画家の休日)がお気に入りだ。伝わっていたらうれしい。さて、ようやく本題である。呪文はどのように唱える。

*a painter on vacation,
a middle-aged ballerina,
a fan that cools the earth,
come from the sea,
rich, dentist, pharmacist*

AIはどのように描くのだろうか。

1 minute later



知っていたけれど、Mjはたった1分で4枚描いた。じわじわと色が混ざり合っていく1分が、長くも短くも感じた。描くのが難しかった海が美しく輝いている。...でも、あからさまに海とバレリーナしか描く気がないので苦笑した。ただその中で4枚目にはバレリーナが何かと合成された「海から来た」感が漂っている！初めて見たこともない未知のものが描かれて興奮した。これを高解像化していけば面白いものになるのではないだろうか。それでも「呪文に忠実な絵」を仕上げたのは自分だとも思う。AIの面白さと頼りなさを両方とも実感できた実験となった。さて、これは今後どのように私たちの生活に浸透していくのだろうか。いまはまだ、魔法使いになるのもとても難しいことが伝わっていたら満足だ。(図書館文化委員)